



社会福祉法人松仁会

社会福祉法人 松仁会 中長期計画

～法人設立40周年 更なる飛躍に向けて～

【基本理念】

『基本的人権の尊重』『利用者の立場に立つて』

平成28年8月8日 作成
令和2年3月21日 改訂(各期間の計画について修正)



社会福祉法人松仁会

趣 旨

社会福祉法人 松仁会は、創立40周年を迎えました。

現在、社会福祉法人を取り巻く環境は非常に厳しく、特に高齢者福祉施設においては、今後の「人口減少・高齢社会」に対応していくために、より良いサービス提供に努めることはもちろん、人材を確保し、その育成に力を注がなければなりません。

当法人はこの節目に、法人理念を再確認し「思いを継承しつつ、事業を継続するためには何が必要か」検討を行いました。

2025年までの10年を「生き残りをかけた10年」と位置づけ、事業の安定性を図り、質の高いサービス提供ができる人材の育成、社会福祉法人として新たな福祉ニーズへの積極的な対応など、更なる発展のため行動計画を策定します。
(平成28年8月8日原文)

上記の「中長期計画」策定から4年が経過しましたが、高齢社会に向け、ますます複雑化していく福祉ニーズへの対応等、社会福祉法人として更なる役割を果たす事が求められています。

現在、当初計画期間における第2期に入っていますが、これまでの一部未達成の内容についての時期変更、またこの4年の間に变化した様々な新しい課題についても取り組むべき必要から、今後10年についての計画を改めて策定いたしました。

「松仁会としてのあるべき姿」と「生き残りをかけた10年」を意識し考えた、新しい「中長期計画」のもと行動いたします。
(令和2年3月21日)



社会福祉法人松仁会

松仁会の行動計画

《満足いただく三本の柱》

- 1 利用者・利用者家族の満足
- 2 職員・職員家族の満足
- 3 地域・地域住民の満足



社会福祉法人松仁会

1 利用者・利用者家族の満足 ＝サービスの質の向上を目指して＝

全職員が基本理念(方針)を再認識し

「豊かな知識」「確かな技術」を継承します

“難しい人ほどすばらしい教科書”

⇒困難ケースと言われる方には

創造と改善の精神で積極的に取り組みます



社会福祉法人松仁会

2 職員・職員家族の満足

＝事業の安定 人材確保・育成のための取組＝

働き甲斐のある、魅力ある職場作り

人材確保・人材育成に努めます

透明で安定性のある経営・職場環境を整えます

時代のニーズに即した新規事業の検討を行います



社会福祉法人松仁会

3 地域・地域住民の満足

＝社会福祉法人としての使命を果たすために＝

社会福祉法人の使命を認識し

社会貢献を念頭に生活困窮者の支援を行います

積極的な情報発信により

“地域のための施設”を目指します

制度にとらわれない福祉ニーズを探り、率先し対応します



第1期 (令和2年度～3年度)

利用者のために

- ・介護技術指導員の増員(6名へ)、次の指導員育成の為の研修制度と研修施設の整備
- ・各業務におけるリスクマネジメントの徹底
- ・認知症ケアの確立
- ・医療機関と連携強化

職員のために

- ・「働きやすい職場」に向けた環境づくり・制度・規定の整備
- ・外国人雇用による労働力確保
- ・理念に反しないICT・IoT・AI等の導入による業務効率化、生産性の向上
- ・将来のスキルアップ・組織内活性化の為の人事異動

地域のために

- ・地域包括ケア・地域共生社会に向けた対応・準備
- ・地域課題・福祉ニーズの発掘、社会貢献活動
- ・地域とのつながり強化(地域を巻き込んだ積極的、公益的な取り組み)

東松山ホーム西棟の解体・職員用住宅、研修施設の整備

県内一の施設に



社会福祉法人松仁会

第2期 (令和4年度～6年度)

利用者のために

- ・介護技術指導員の更なる増員・養成
- ・終末期ケア・医療的ケアの充実を図る
- ・認知症に特化した施設へ

職員のために

- ・新しい役職者を中心とした新しい組織づくり
- ・多様な人材・働き方を推奨
- ・外国人材の更なる増員

地域のために

- ・地域包括ケア・地域共生社会に向けた連携・協働
- ・地域課題・福祉ニーズへの支援強化
- ・更なる社会貢献活動への取り組み

高齢者住宅の整備・GHLしんめい跡地の再利用

全国に知られる施設に



社会福祉法人松仁会

第3期 (令和7年度～11年度)

利用者のために

- ・介護技術指導員の更なる増員・養成
- ・医療を組み込んだ事業の開始
- ・プロフェッショナル集団としての確立
(選ばれる施設へ)

職員のために

- ・将来を安心できる職場づくり
(安定した人材の確保・安定した継続可能な事業経営へ)

地域のために

- ・地域包括ケア・地域共生社会の実現
- ・地域に根ざした活動の継続
(地域にとって無くてはならない施設へ)

ポスト確保・人件費確保のための新規事業展開



社会福祉法人松仁会

最後に

よりよいもののために

よりお年寄りのためのものへ

常に検討され、吟味され

進化を続けていかなくてはならない

創設者 金子てるの言葉

著書「花時計は見ている」 P205より

